

参考資料：岡山縣上道郡古都村史、現代古都の郷、ふるさと古都  
岡山史蹟めぐり（岡山市立西大寺公民館古都分館）、岡山市の地名

## さんのうざんこふんぐん 山王山古墳群

山王山古の古墳は、宍甘の山王山上にある古墳である。

山王山の山上につくられた古墳の位置からは岡山平野を一望のもとに見渡すことができる。

この前方後円墳がつくられた時代は古墳の様式から考えて、紀元 4、5 世紀と推定される。

この時代の支配者は自己の権威の象徴として大きな墳墓をつくったが、つくる場所も自己の支配する地域を一望のもとに見渡せるようなところを選んだ。

古墳の周囲には埴輪がめぐらされてあったと考えられ、いくつかの埴輪破片が発見された。

現在、山王社の御神体とされている後円部の頂上の平坦部に遺体が埋葬されたわけである。

ここに竪穴式石室が造られ、遺体と福葬品は此の石室内に安置されていると推定できる。

山王山上には前方後円墳の周辺とその北西方の山上とに十数個の古墳が発見されている。何れも円墳又は方墳で、次に述べる矢津古墳群に見られる横穴式円墳より古いものである。

山王山古墳群は山上の見晴らしのよいところにあり、この辺一帯の族長、首長の墳墓と考えられる。